自信を失う日本人

日本における自尊感情の経時的变化

○荻原祐二^{1,2}・内田由紀子³・楠見孝¹

(¹京都大学大学院教育学研究科・²日本学術振興会・³京都大学こころの未来研究センター)

キーワード：自尊感情・経時的变化・日本

Losing confidence over time: Temporal changes in self-esteem in Japan

Yuji OGIHARA^{1,2}, Yukiko UCHIDA³ and Takashi KUSUMI¹

(¹Graduate School of Education, Kyoto Univ., ²Japan Society for the Promotion of Science, ³Kokoro Research Center, Kyoto Univ.)

Key Words: self-esteem, temporal change, Japan

目 的

日本において、自尊感情を高めるような教育実践や施策が積極的に行われてきた (e.g., 東京都教育委員会, 2004)。そうした教育実践や施策は効果的に機能しているのだろうか。

小塩ら (2014) はこれまで日本で実施されてきた Rosenberg (1965) の自尊感情尺度を用いた研究を収集し、時間横断的メタ分析を行っている。その結果、1984 年から 2010 年の日本において、中高生・大学生・成人 (18 歳から 60 歳) の自尊感情が低下していることが明らかとなった。

しかし、先行研究には 3 つの限界点がある。第 1 に、高齢者を対象とした研究数が少ないために、検討が十分とは言えない。第 2 に、性別によって、変化のパターンが異なる可能性があるが、性別ごとの分析は行われていない。第 3 に、大学生を除く 18 歳から 60 歳の成人をまとめて分析しているが、年齢段階によって結果が異なる可能性がある。

そこで本研究では、先行研究とは異なるデータを用いて、日本における自尊感情の経時的变化について検討した。

方 法

データ 博報堂生活総合研究所による「生活定点」調査を用いた。この調査は、1992 年から 2014 年まで隔年で実施されている (12 波)。首都 40km 圏と阪神 30km 圏に住む 20 歳から 69 歳までの男女を対象としている。各年の平均サンプルサイズは 2,631 名で、合計 31,567 名であった。

項目 『あなたは現在「自分自身の力による自信」がどの程度ありますか。』という項目に対して、参加者は 4 件法 (1: かなりある方だ、2: ややある方だ、3: あまりない方だ、4: まったくない方だ) で回答した。「ある方」(1 と 2 の合計) と「ない方」(3 と 4 の合計) ごとに算出されたデータのみが公開されているため、「ある方」と回答した回答者の割合を分析対象とした。

結 果

自分自身の力による自信が「ある方」と答えた回答者の割合と年度との相関係数と、自信が「ある方」と答えた回答者の割合の平均変化率を表 1 に示した。性別・年齢段階に関わらず、一貫して自尊感情は低下していた。

表 1 相関係数と平均変化率

	男性					女性				
	20s	30s	40s	50s	60s	20s	30s	40s	50s	60s
相関係数 r	-.81	-.94	-.81	-.89	-.70	-.91	-.85	-.85	-.88	-.31
平均変化率%	-2.39	-1.93	-1.65	-1.48	-1.64	-1.11	-2.05	-1.49	-1.92	-.57

自分自身の力による自信が「ある方」と答えた回答者の割合の経時的变化を、性別・年齢段階ごとに示した (図 1, 2)。

図 1 男性における年齢段階ごとの自尊感情の経時的变化

図 2 女性における年齢段階ごとの自尊感情の経時的变化

考 察

先行研究 (小塩ら, 2014) とは異なるデータを用いて、日本における自尊感情の経時的变化を検討した。先行研究と一貫し、成人 (20 代から 50 代) において自尊感情は低下していた。20 代から 50 代で年齢段階によって変化のパターンに大きな違いは見られなかった。また、中高生から成人だけでなく、高齢者 (60 代) においても自尊感情は低下していた。さらに、この変化に性別による大きな違いは見られなかった。

アメリカにおいては、自尊感情は上昇している (e.g., Gentile et al., 2010)。今後は、なぜ日本において、幸福感や身体的健康とも強く関連する自尊感情 (e.g., 遠藤, 1995) が低下しているのかを明らかにする必要がある。

引用文献

小塩真司・岡田涼・茂垣まどか・並川努・脇田貴文 (2014). 自尊感情平均値に及ぼす年齢と調査年の影響 教育心理学研究, 62, 273-282.